

2020 年国勢調査運用品質指標：第 2 回発表

2021 年 5 月 28 日、アメリカ合衆国国勢調査局は、2020 年国勢調査の運用品質に関する第 2 回の指標を発表しました。運用品質指標は、国勢調査局が各住所に関する回答をどのように得たかに注目して、国勢調査の品質についての重要な情報を提供するものです。

国勢調査局は、どの国勢調査業務から回答を得たか（自己回答から、未回答世帯追跡調査から、その他の国勢調査業務から、計数インピュテーションからなど）によって分類した 1 人世帯および 2 人世帯に関する指標と、国勢調査業務によって分類した居住している住宅ユニットおよび空き家の住宅ユニットの割合を提供しました。

これらの指標を使うと、世帯規模によってデータ収集がどのように異なっていたかを調べることができます。初回の運用品質指標の発表と同様に、これらの指標は 20 年にわたるものであり、州 (states) によっても異なりますが、指標間で異なっても必ずしもそれが相対的な良し悪しにつながるものではなく、国勢調査業務について引き続き調べていく上で有用な情報であるということに留意することが重要です。

これらの指標は、[インタラクティブなダッシュボード](#)（英語のみ）と[ダウンロード可能な表](#)（英語のみ）で利用可能です。

国勢調査局のブログ [2020 年国勢調査運用品質指標：第 2 回発表](#)（英語のみ）では、詳細と指標の重要点を紹介しています。例えば、このブログでは、国勢調査局がさまざまな規模の世帯の情報を収集した方法に 2010 年国勢調査との一貫性があることが指標から分かること、そして、一貫性があることから品質の比較が可能であることが示唆されるということが説明されています。